

## <白金標準、スイスフラン安、人民元安の悪影響・・・>



(出所：オアシス)

日銀は17年ぶりにマイナス金利を解除し、金融政策の正常化に向けた動きに舵を切っている。またFOMCでは5回連続のFFレート誘導目標を据え置き、FOMCメンバーに伴う金利予想では24年に3回の利下げ予想を示すなど、6月における利下げ観測が強まりを見せ、米国経済はリセッションを回避し、ソフトランディングの可能性を示している。特に欧州自動車工業会は2月の欧州連合の新車登録が前年同月比で10.1%増となり、中でもPGM触媒を使用するプラグインハイブリッドが大きく伸びを示している。また南アフリカでは、シバニースチールウォーターのPGM立坑で事故が発生し、24年54000オンス(1.6トン)生産が予想されているPGM生産が停止している。

しかしスイス中央銀行は主要10通貨に先駆けて政策金利を0.25%引き上げを実施し、ドル高：ユーロ安に結び付いている。また中国人民銀行は人民元の対ドルでの7.2人民元を超える元安を容認するなど、中国経済に対する不信感が高まりを見せるなど、週末には4353円まで下値を試した事から4300円に向けた下値模索に備えるのが妥当と思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが下げながら、シグナルは切り上げており、弱気のクロスが発生している。RCIでも短期が下げながら、長期は切り上げており、目先下値追いに注意した方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,390,000 円(2024 年 3 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 3 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>